



令和3年8月15日
第848号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0044 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
編集 盛川英治
発行 1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

理事会 書面決議で承認 新役員が決定される

日本遺族会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、本会役員を選定する第24回理事会の開催を見合わせ書面による決議とした。本会内に設置した役員選考委員会(委員長・國政隆昭(鳥取県))の審議による「役員選考委員会報告書」が決議案に提出され、全理事の同意を得て、正副会長が承認されるなど新たに役員が決まった。

第24回理事会(書面による決議)では、第14回評議員会で選任された評議員、理事、監事(令和3年7月15日付本紙第847号で氏名掲載)が報告され、提案された3つの決議事項について、すべての理事から同意する旨の同意書が本会に届けられ、7月16日付で新役員が決定した。

第1号決議案の「会長、副会長、専務理事の選定」は、コロナ禍で会議を設けることが困難な状況の中、國政委員長が中心となり電話で各委員の考えを聞いていたが、6月21日、東京等大都市圏に発出されていた緊急事態宣言が解除されたことから、28日、都内ホテルの会議室で役員選考委員会を開き、意見をとりまとめた。

委員会は、会長については水落敏栄(本部推薦)氏を推薦し、副会長については宇田川勲雄(東京都)、市来健之助(山口県)、両氏を推薦することを全会一致で決めた。また、専務理事の選定については、今後の遺族会の将来を見据え、事務局体制の在り方等について意見が交わされ、当面の間、宇田川副会長が専務理事を兼務することとした。これらの結果は「役員選考委員会報告書」として決議案に提示され、報告書



靖国神社で 2年ぶりのみたままつり

この結果は「役員選考委員会報告書」として決議案に提示され、報告書

戦没者遺族の皆さまへ 第11回特別弔慰金の請求手続きについて 令和5年3月31日までにご請求ください。

支給対象となる方
令和2年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方(戦没者等の妻や父母)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

■戦没者等の死亡当時のご遺族で

- 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
- 4 上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)
※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。
※請求手続きの簡素化のため「同意書」が廃止されたので、同順位の方が複数いる場合は、話し合いのうえ、代表して請求する方を決めてください。

支給内容 額面25万円、5年償還の記名国債 **請求窓口** お住まいの市区町村の援護担当課
詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村の援護担当課にお問い合わせください。

の通り同意を得た。さらに、第2号決議案では常務理事(各プロック並びに本部から推薦された6人)の選定、第3号決議案では各顧問、相談役の推薦について諮られ、何れも承認された。新役員は次のとおり。(敬称略)

会長	水落 敏栄
副会長(専務理事兼務)	宇田川 勲雄
副会長	市来健之助
名誉顧問	古賀 誠
同	尾辻 秀久
相談役	畔上 和男
常務理事	安齋 満
同	江田 大
同	山田 隆昭
同	國政 隆昭

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円(1年間12回 税金・送料込)
お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

支部長交代
福井県で
福井県遺族連合会
和田 昭十四氏
(6月25日付)

謹 哀悼
松尾慧子氏 奈良県遺族
会副会長・同県女性部長。
7月20日、逝去された。
83歳。通夜、葬儀はJ.A
ならけんセレモニーホー
ル吉野で執り行われた。
喪主は夫昭良氏。

17日間わたって熱戦を繰り広げた第32回夏季五輪東京大会は8月8日、閉幕した。新型コロナウイルス感染症の影響で史上初の五輪延期を強いられた中で、日本は金27、銀14、銅17の計58個のメダルを獲得し、金メダル数はアメリカ、中国について世界3位で、メダル数も史上最多となった▼開催の可否をめぐる世論が割れた中で、精神面でも不安定な立場に置かれた選手たちは、それでも開催を信じ、鍛錬を続けた道は、メダルの色や有無を超えた価値がある。そんな中、今大会から採用された「スケートボード女子パーク」では、19歳の四十住下(よすみ)さくら選手が金メダルを獲得。12歳の開心那(ひらきこな)選手が史上最年少で銀メダルを獲得した。あどけなさが残る中学1年生の快挙に驚かされたのは小紙だけではあるまい▼女性アスリートの活躍が目立った大会でもあった。女性種目で全体の半分以上の14個の金メダルを獲得した。レスリングでは川合梨紗(かわいりさ)選手が、女子友香(ともか)選手をはじめ、競泳、ソフトボール、柔道、ボクシングが挙げられる。メダリストに贈られる報奨金の支給額は過去最高の4億円になる見通しと伝えている▼すべての選手とボランティアの皆さんにARIGATOを言いたい。(M)

日本遺族通信への広告掲載を募集しています

日本遺族通信では、現在広告を掲載していただける広告主様を募集しております。日本遺族通信は発行部数約10万部で、全国の戦没者遺族を中心に訴求効果の期待出来る広告媒体です。是非ご利用ください。

①発行日：毎月1回 15日発行	②体裁：タブロイド版の4頁
③発行部数：約10万部	④主な購読者：全国の戦没者遺族

料金 1回 ・記事下2段 (24.0cm×7.2cm) 86,400円+消費税
・記事下2段2/1 (11.9cm×7.2cm) 52,200円+消費税
※料金については応相談いたします。

問合せ先 日本遺族会事務局 事業担当まで ☎03-3261-5521 FAX03-3261-9191

要望事項実現に向けて

総務・厚生労働両省に陳情

令和4年度
政府予算

本会は令和4年度政府予算の概算要求に、本会の要望事項実現のために各種の運動を展開している。8月10日には、宇田川劔雄副会長(専務理事兼務)が厚生労働省援護担当審議官、総務省恩給担当審議官に面会し、直接本会の要望事項をまとめた「お願い書」を手交した。支部においても、地元選出自民党国会議員に陳情活動を行っている。

8月10日、宇田川劔雄副会長(専務理事兼務)は、厚生労働省社会援護局、総務省を訪ね、令和4年度政府予算に対する本会の要望事項(本紙第846号に掲載)が完全実現されるよう「戦没者遺族の処遇改善に関するお願い書」を手交し、

概算要求に盛り込まれるよう陳情した。厚生労働省では、本多則恵大臣官房審議官援護担当と面会し、新型コロナウイルスの世界的蔓延により海外渡航が困難な状況下、昨年から事業実施の目的が立たない戦没者遺児による友好親善

事業、戦没者遺骨収集事業の再開に向けての配慮と、平和の尊厳を次世代に継承し、世界の恒久平和への願いを発信する「先の大戦に係る戦没者遺族等の記憶及び教訓継承事業」の新設等を要請した。

総務省では、恩給管理官室を訪ね明渡将大臣官房審議官(恩給担当)らと面会し、公務扶助料の改善、特別扶助料の支給率拡大について陳情した。また、各都道府県遺族会支部へは、地元選出自民党国会議員が帰省等し



本多則恵大臣官房審議官(恩給担当)を訪ね、要望事項実現に向けて陳情した。8月10日、厚生労働省で

た際に、直接「お願い書」を手交するなど、概算要求に本会の要望事項が反映されるよう地元での陳情運動を実施するよう依頼した。

日本戦没者遺骨収集推進協会主催による硫黄島戦没者遺骨収集派遣第3回フォローアップ調査は、7月5日から20日までの16日間で実施され、日本遺族会から1人が参加協力し、硫黄島内のジャンゲルや地下壕等で作業に従事した。今回のフォローアップ調査では、硫黄島中央部中に公表予定である。

フォローアップ調査 地表で頭骨の一部を収容

の硫黄ヶ丘西からホットビット周辺及び南部落周辺の壕等対象として、派遣団員は、植物が生い茂るジャンゲルをグリッド内の目的地まで徒歩で踏査し、未発見の地下壕等の捜索、既に遺骨が収容されている壕の確認などを行った。また、南部落周辺の地表で頭骨の一部を収容し、島内の厚生労働省事務所に安置した。



頭骨の一部を収容し養生された南部落の地表部分 = 7月17日、硫黄島で

戦没者遺骨のDNA鑑定 対象地域が拡大される

厚生労働省は、戦後75年以上を経て、戦没者遺族が高齢化していることを踏まえ、平成29年度に沖縄県、令和2年4月から硫黄島及びキリバス共和国ギルバート諸島タラワ環礁で収容された遺留品等の手掛かり情報がない戦没者遺骨について、身元特定のためのDNA鑑定を公募により実施しており、これまでにタラワ環礁で2柱、硫黄島で2柱の戦没者遺骨について、それぞれ遺族との間で身元が特定されている。これらの結果を踏まえ、同省は、DNA鑑定の対象地域を拡大して実施することとしており、遺族からの申請受付が令和3年10月1日から開始される(沖縄、硫黄島及びタラワ環礁は現在も引き続き申請受付中)。具体的には、戦没者遺骨を収容できた地域(検体が採取できた遺骨がある地域)を対象に申請を受け付け、同省の保管資料や申請された死亡場所等の情報に基づき、ある程度戦没者とのつながりが確認できる場合に、DNA鑑定が実施される。

現時点での対象地域は次のとおり(50音順)。
硫黄島、インド、インドネシア、沖縄、樺太、旧ソ連等(旧ソ連、モンゴル)、タイ、中部太平洋

採取できた遺骨がある地域)を対象に申請を受け付け、同省の保管資料や申請された死亡場所等の情報に基づき、ある程度戦没者とのつながりが確認できる場合に、DNA鑑定が実施される。現時点での対象地域は次のとおり(50音順)。
硫黄島、インド、インドネシア、沖縄、樺太、旧ソ連等(旧ソ連、モンゴル)、タイ、中部太平洋

DNA鑑定で身元が特定 マリアナ諸島遺骨収集

厚生労働省は、令和3年6月22日開催の第6回身元特定DNA鑑定会議において、マリアナ諸島戦没者遺骨収集団が令和

元年11月に北マリアナ諸島サイパン島、テナン島で収容した遺骨から1柱の遺骨の身元が特定された。

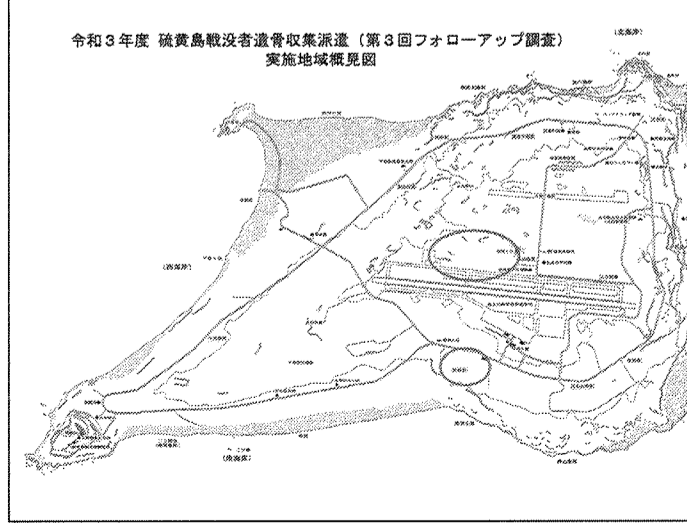
身元が特定された遺骨の収容場所は、テナン島南部のサンホセ東方カステイズ地区の洞窟と思われる。なお、身元が特定された遺族と遺骨については、返還に向けて現在調整されている。

ミャンマー小学校 修繕募金のお礼

本会では、令和2年4月より、海外社会活動事業の一環として、ミャンマー(旧ビルマ)に建設寄贈した小学校の修繕募金を皆様方からお願いしてまいりました。多くの方々からご寄付ご支援をいただき、令和3年7月末日で、募金合計が204件、216万3000円となりました。ご協力に感謝申し上げます。ミャンマー小学校修繕事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響やミャンマーの国



ヤンゴン市の北カラバサ第14小学校



令和3年度 硫黄島戦没者遺骨収集派遣(第3回フォローアップ調査) 実施地域概観図

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族援護など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。
*ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会：(株)ニホンイソクカイ」

好業 友事 慰親 靈善 慰親

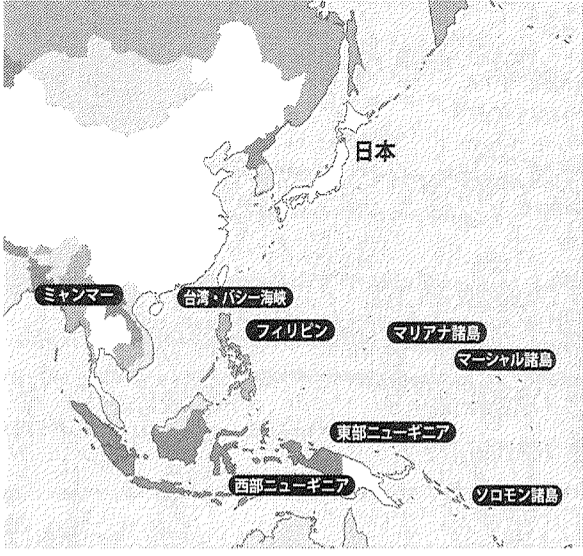
コロナ禍の状況下 一部地域について中止

日本遺族会が実施する戦没者遺児による慰霊友好親善事業では、本年度実施地域の一部地域が中止となったが、本年12月から年明け以降にかけての地域では、引き続き募集を行っている。新型コロナウイルス感染症対策では、入出国の規制緩和や安全が確認された上で、実施の有無を各地域の締切日を持って決定することとしている。

募集要項は次の通り。
▼時期及び地域 実施
計画概要参照。
なお、実施計画概要で

広域地域の※印については、フィリピン地域一次はレイテ島東方沖、ソロン諸島地域はガダルカナ沖、台湾・パシフィック地域はパシフィック海峽で洋上慰霊または機上遙拝を予定。
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配になる。また、移動に

ル島北西沖、マリアナ諸島地域はグアム・サイパン島西方沖、フィリピン地域二次はルソン島西方沖、台湾・パシフィック地域はパシフィック海峽で洋上慰霊または機上遙拝を予定。
▼参加資格 戦没者の遺児。参加経験が一年を経過した方(令和元年度以前の参加者は複数回の応募ができる)。
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目全てに記入を要するの



小型ボートから亡き父に手を合わせる
=平成29年11月、ソロモン諸島洋上で

実施計画概要

地域	時期	募集人員	申込締切	感染症危険情報
1 ※フィリピン(1次)	令和3年12月14日~12月21日	120人	10月6日	レベル3
2 ※ソロモン諸島	令和4年1月10日~1月17日	20人	11月10日	レベル2
3 ※マリアナ諸島	令和4年2月9日~2月15日	40人	12月2日	レベル3
4 マーシャル諸島	令和4年3月5日~3月13日	20人	11月4日	レベル2
5 ※フィリピン(2次)	令和4年3月11日~3月18日	120人	1月7日	レベル3
6 ※台湾・パシフィック	令和4年3月23日~3月29日	40人	1月12日	レベル2

地域	時期	募集人員	申込締切	感染症危険情報
1 東部ニューギニア	令和4年2月2日~2月9日	36人	11月25日	レベル2
2 西部ニューギニア	令和4年2月10日~2月19日	36人	12月3日	レベル3
3 ミャンマー	令和4年2月24日~3月4日	36人	12月20日	レベル3

※8月5日現在、外務省ホームページより。
感染症危険情報：レベル2 不要不急の渡航は止めてください。
：レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)

お父さんへ

第76回

お父さん茂雄です。戦後70年の節目の年に念願のお父さんの戦地を遺族会のご配慮により訪れることが出来まして感無量です。もっと早く訪れたかったです。遅くなりまして申し訳ございません。

慣れない軍隊生活、まして異国の地での任務は想像を絶する苦勞があったと思います。幼い子供と家族を残し、異国の地で果てなければならなかったこと、さぞ無念だったと思います。お父さんは、日本国のため、立派に任務を果たされました。本当にお疲れさまでした。お陰様で現在の日本は世界に誇れる国に成長いたしました。これもお父様を始め、戦死された皆様の尊い犠牲の上によって実現された感謝致します。

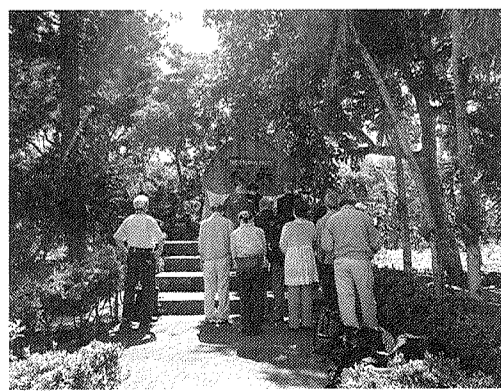
私3才の時に出征されました。お父さんの記憶はほとんどございませぬが、母親の背中におんぶされ、お父さんが日本を出港される呉港にいた記憶がすかすかに残っております。私が5才の時に疎開先の石部でお父さんの戦死の計報をお母さんが聞き、大泣きされている姿を幼い年、今でも記憶に残っております。

終戦後しばらく石部の奥野の方でお世話になっておりました。弟の博が、お父さんに会いたかったのではなかつたかと思っております。その後、京都の叔父さんの誘いで母親と二人でお父さんの実家の岩上で居候をさせていただきました。母親は私を育てるため、必死に働いてくれました。周りの皆様のご

好意をいただき、貧しい年も母親ともども元気に暮らし無事成長することが出来ました。現在縁あって奈良に住んで約40年になります。お母さんは93才で他界いたしました。細い体で苦勞したわりには長生きしてくれたと思います。お母さんは生前いつも口癖のようにお父さんがいつも見てくれて、ついてきてくれて心の支えのように言っております。お母さんには苦勞と心配をかけたばなしで何の親孝行も出来ず悔やまれます。お父さんにも叱りを受けると思

現在3人の男子と5人の孫に恵まれ、元気に夫婦で生かしていただいております。お父さんの兄弟は今では残念な、全員他界されました。お父さんのお墓は京都の実家のお寺専求寺さんの本家の近くにお作りしております。節目節目に

参拝しておりますのでご安心下さい。お父さん永い間お待たせいたしました。故郷日本へ私といっしょに帰りますように。
3月8日 ミンダナオ島カタルナン「平和の塔」にて(平成26年度フィリピン二次参加者、奈良県田中茂雄氏追悼文より抜粋)



で、事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者

の部隊等)があれば各遺族会に相談し、条件を満たした上で提出願いたい。

なお、申込多数の場合は実施地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合があります。また、新型コロナウイルス

なお、申込多数の場合は実施地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合があります。また、新型コロナウイルス

本会への 賛助金のお礼

本紙でもお願いしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。なお、大変恐縮ではございますが都道府県名に

ご賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

字名は現金書留等) 鴨田篤和、山本泰生、西山尚利、吉田俊平、新庄了、ホリキヒロミ(以上、7月1日から7月末日まで)

皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

ミャンマー(旧ビルマ) 小学校修繕募金のお願い

日本遺族会では、ミャンマー(旧ビルマ)に建設寄贈した小学校の修繕費用について寄付金を募っております。

先の大戦で18万の将兵が散華されたミャンマーの子供たちのためヤンゴン、アキャブ、ペギーに3校の小学校を建設し、竣工贈呈いたしました。建設から20数年が経過し、校舎等も老朽化が進んでいることから、この度修繕費用を募ることいたしました。

関係遺族をはじめ、広く遺族の皆様からのご支援をお願いいたします。

銀行名：三井住友銀行 神田支店
口座番号：当座預金1015126
口座名：一般財団法人 日本遺族会
IIザイニホソイツクカイ

本会事業参加者の皆様へ
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

作文コンクール実施 ポスターコンクール実施

優秀作品に厚生労働大臣賞

昭和館

昭和館では、毎年小・中学生を対象に、「昭和館見学作文コンクール」及び中学生・高校生が描いた「中学生・高校生ポスターコンクール」を実施しており、今年も7月1日から募集を開始した。作文コンクールの締め切りは、令和4年1月15日まで。ポスターコンクールは同1月14日となっており、一人でも多くの作品を待っている。

昭和館で開催している小・中学生を対象に実施の応募総数は約8300作文コンクールは、平成14年から昭和館または巡の協力も得ながら、多くの応募があり、これまでの戦中・戦後の人びとの労

苦を学び、調べたことや感じたことを文章にまとめ、優秀作品には、厚生労働大臣賞、昭和館館長賞を設けて表彰を行い、一部は昭和館ホームページに公表している。

昨年度は新型コロナウイルスの影響から小・中学校の団体見学が減少したため、今年度は、昭和館YouTubeでオーラルヒストリー(証言映像)を視聴したり、次世代語り部の講話を聴いたりした小・中学生も応募

対象としている。ポスターコンクールは、あなたが感じた戦中・戦後の昭和の暮らしを中学生・高校生が描いたポスターによって多くの方に伝えることを目的とし

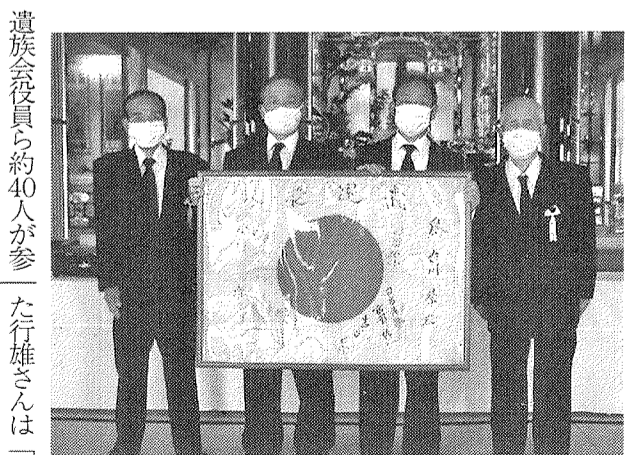
て平成20年度から始まり、今年度で第14回目の開催となる。これまでの応募総数は約2500作品。優秀作品は昭和館資料公開コーナーや巡回特別企画展

ホームページで紹介している。問い合わせ先
○作文コンクール
○ポスターコンクール
昭和館総務部 ☎03-3222-2574
3222-2577

新潟県で日章旗返還

OBONソサエティ

「戦没者等の遺留品返還に伴う調査」事業で、OBONソサエティから本会に照会があった日章旗が新潟県妙高市出身で、昭和20年6月15日、沖縄で戦死した古川學さんのものであることが判明し、遺族に返還された。日章旗は、米国テキサス州在住のデボラ・フォレットさんが元米兵の父親から譲り受け大切に保管されていたもので、新潟県連合遺族会、妙高市遺族会の捜索により遺族の所在が分かった。



日章旗を受け取った遺族の古川行雄さん(右から2人目) = 6月30日、妙高市の新井別院で

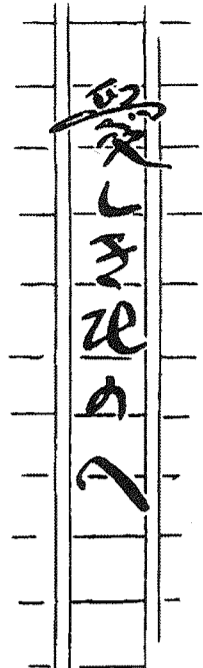
6月30日、妙高市出身の戦没者を追悼する戦没者追悼法要が新井別院で営まれ、行政関係者や市

遺族会役員ら約40人が参列。その席上で、入村昭市長から遺族の古川行雄さんへ日章旗が引き渡された。日章旗を受け取った行雄さんは「返還されるとい話を聞いたときは本当に驚いた。古川家の家宝として大切に保管したい」と話した。

遺言書

陸軍兵長 金須 正一

昭和二十年五月十五日
沖縄県本島運玉にて戦死
北海道河東郡鹿追村出身 二十三歳



天皇陛下の御ために戦死しました。武人の面目にして男子の本懐なり。是も偏に二十有余年御養育下されし御両親様始め兄弟一同、又中隊長殿始め各先輩の入隊以来の御指導及び戦友の友情にて今日の榮を得たり。父母上様に先立つも君に忠なれば、又親にも孝なり。正一の戦死を御喜び下さい。老いたる父母上様を残して先立つは忍びざるも仕方なし。何分兄弟相助け亡き正一の分まで孝養を盡して下さい。実に親の恩は深重です。時折態度の悪かつた事も御免下さい。(中略)

常に皆さんの身を守ります。今度逢ふ日は靖國の御社で。兄も待つてをるだらう。兄とも逢へると思ふと嬉しいです。笑つてお先に参ります。立派に働いて戦死した事をお喜び下さい。終はりに天皇陛下萬歳と皆様の御健康をお祈りして、お別れ致します。御機嫌やう。隣近所の方々にもよろしく。國藏よ元気で立派な軍人になつて呉れ。

金須正一
【原文のまま】
〔令和三年八月靖國神社社頭掲示〕
愛しきものへ

九段短歌

選者 安元 百合子

富士吉田市 萱沼 勝由

小諸市 塩川 篤子

千葉市 石橋 嘉子

加古川市 岡田 徹也

佐世保市 田中 暁

名古屋市 齊藤 文字

桃はめば四歳の記憶があざやかに父の戦死の報せあり

作品を
お寄せ
ください。

ラバウルの空ゆうゆうとセスナ飛ぶ激戦の空知るや知らずや

靖國神社の境内訪へば聞こへ来る「若鷺の歌」胸にせまり来

ドキュメントの報道に知る特攻隊遺族の悲しみ今も失せるぞり

若盛り終戦直前いさぎよく国土を思い肉弾になり

母娘抱き合いて泣く位牌一基敗戦まじかの留守宅の夏

病弱の父は帰りに叔父が逝く志願兵にて星の世界に

桃はめば四歳の記憶があざやかに父の戦死の報せあり

選者 安元 百合子

富士吉田市 萱沼 勝由

小諸市 塩川 篤子

千葉市 石橋 嘉子

加古川市 岡田 徹也

本だな

「みんなで学ぶ戦中・戦後のくらし」

戦後のくらし 金沢市遺族友の会(遺児の会)は、戦中・戦後のくらしをまとめた絵本を発刊した。

当初は紙芝居用に製作が進められていたが、コロナ禍で慰霊行事や語り部活動が困難になって

るため、イラスト式で兵士の出征、学童疎開や空襲などを解説する絵本として作成されることになった。

戦争の悲惨さと平和の尊さについて、子供たちが家族と一緒に考え、知るきっかけとなるような絵本になっており、金沢市内外の図書館、市立の

当初は紙芝居用に製作が進められていたが、コロナ禍で慰霊行事や語り部活動が困難になってるため、イラスト式で兵士の出征、学童疎開や空襲などを解説する絵本として作成されることになった。

戦争の悲惨さと平和の尊さについて、子供たちが家族と一緒に考え、知るきっかけとなるような絵本になっており、金沢市内外の図書館、市立の

「激戦の空知るや知らずや」ラバウルには大規模な飛行基地があり、日本軍と連合軍との戦闘の結果、昭和十七年一月二十三日オーストラリア軍は降伏しました。今となつては知るよしもないでしょうか。

「大東亜戦争は日本が勝つた」(ヘンリー・ストークス)を読みました。大東亜戦争は侵略戦争ではなく、アジア解放戦争である。その戦争目的達成のために二百万の将兵が尊い命を捧げた。その戦争の大義を日本人は永遠に忘れてはならないと述べています。皆様のご健勝を祈りあげます。(選者)

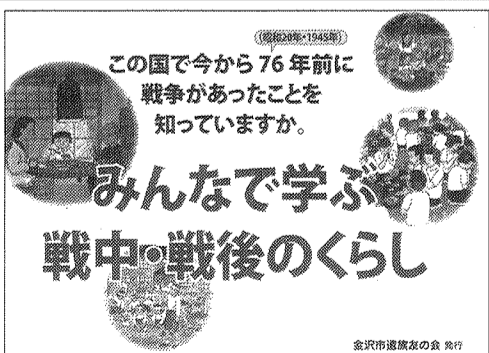
「世界平和の祈り」開催

和プロジェクト主催

国連の定める国際平和デーの9月21日に、靖國T.A.I.S.H.I.(宮本辰彦代表)は、書道家や和

文化に携わるアーティストらとともに、国内外で日本の平和思想「和の精神」を発信する活動を行っている。

当日は、書道家等が世界平和を祈つて奉納揮毫を開催することになっており、本会はこの催しに協賛している。詳細は「和プロジェクトT.A.I.S.H.I」まで ☎052178315971



絵本についての問い合わせは左記まで。

・金沢市遺族友の会(遺児の会) 柴田勝弘会長
・住所 〒921-8141
金沢市馬替1丁目8-1
・電話 076-298-1188
・携帯 090-1163217368